

特集！自然営巣地でのコアジサシ

森ヶ崎の人工営巣地では、人の立入りが制限されており、営巣地整備や調査等の時だけ、スタッフやボランティアの方々が営巣地に入ります。そのような状況の中、2013年は外敵からの保護対策が良い成果を上げ、4年ぶりに幼鳥が巣立ちました。しかし、本来の営巣地である自然の砂浜や河原では、森ヶ崎のような手厚い保全活動が可能というわけではありません。

千葉県にはコアジサシが毎年飛来する砂浜があります。多い時には砂浜数kmに渡ってコロニーが形成され、数千羽のコアジサシが営巣した事もあります。



車に轢かれた幼鳥

その砂浜でも、コアジサシは絶えず営巣を脅かす要因にさらされています。海水浴やサーフィン、釣り等、時期によっては数十人、数百人が1日のうちに営巣地のある砂浜に入ります。営巣地のすぐ横で海水浴、果のすぐ横でビーチバレー、侵入禁止の車輛によって踏まれた卵、そのような光景も珍しくありません。



轢(わたち)すれすれの巣



巣に近づいた人を威嚇する

そのため、自治体や地元の保護団体は、砂浜の一部にコアジサシの保護区を設け、看板を設置し、砂浜を訪れる人にコアジサシの存在、営巣地であることを告知しています。自然の砂浜は私たち人間も利用する場所であるため、コアジサシとうまく共存していくことが望まれます。

砂浜で練習中のモーターパラグライダーが営巣地のすぐ上を飛ぶと、コアジサシは落ち着いて抱卵もできません。そのため、営巣地から離れた場所で練習したり、練習時期をコアジサシの繁殖期とずらしたりと、コアジサシとの共存に努めてくれる団体もあります。



自治体による保護策

一見何も無いような砂浜でも、コアジサシのような絶滅危惧種が生活していることを知ること、そして周囲や足下に少し注意することで、自然とうまく共存していく事が可能だと思います。

ご存知の通り、営巣中のコアジサシは警戒心が強く、近づく人間にも威嚇行動をします。砂浜に遊びに来た人も、コアジサシに威嚇されると良い気分はしないはずです。砂浜や河原で「キリッ、キリッ！」とコアジサシの警戒声が聞こえた時は、周囲を見回し、コアジサシの営巣地に入ってしまうと、少し注意してみてください。【奴賀 俊光】

topics

リトルターン・プロジェクトと環境学習

リトルターン・プロジェクト（以下LTP）に環境学習グループができて、8年が過ぎようとしています。この間、2月のエコフェスタワンダーランドから始まり、環境フォーラムへの参加、ボランティア作業の勉強会、観察会、ほたるのタペに出展、学校での雛のぬいぐるみ作り、パードフェスタイバルの出展、地域の各行事への参加、12月第1週の報告会と、毎年めまぐるしく過ぎていきました。

始めの頃は前向きに環境学習の計画をと思っていましたが、忙しさにまぎれていつの間にか事業の消化に追われるこの頃です。

当初、小学生として観察会などに参加していた女の子がいつの間にか社会人となり、LTPの活動に参加し、一緒に調査打ち上げの飲み会に参加するようになったのには、改めて時の流れを感じ、感慨ひとしおです。これからも地道な環境学習の活動を通して、私たちの活動への理解者を増やし、後継者の発掘につながれば幸いです。【比戸 二郎】



NEWS

2013年度LTP「報告会」が開催されました

昨年12月7日池上会館にてリトルターン・プロジェクトの「報告会」が開催されました。調査研究部会の大塚さんからは営巣状況の推移に関して、また保護整備部会リーダーの松村さんからは前号でお伝えした「いやがらす煌めき」に関する詳細な報告がありました。またトッパページでもお伝えしましたジオロケータの取り組みに関して、日本鳥類保護連盟の藤井幹氏からご講演をいただき、盛況のうちに終えることができました。



期待の新人、新保さんによる進行

藤井 幹氏による講演

熱心な質問がとぎれませんでした

今後のLTPの活動
イベント出展予定
(いずれも大田区共催)

- 2/16 (日) 10:00～ エコフェスタワンダーランド 大田区立大森東小学校
- 3/15 (土) 10:00～ 環境フォーラム大田区民ホール アトリコ 地下展示室
- 3/29 (土)、30 (日) 営巣地整備作業 森ヶ崎水再生センター 東施設

2013年活動記録など

- 2月24日(日) 第12回エコフェスタワンダーランドin池上小学校に出展。
かしわ環境ステーション主催「バードカービング教室」に参加。
- 2月26日(火) 三者会議：大田区役所にて。出席LTP、大田区環境保全課、東京都下水道局森ヶ崎水再生センター：昨年度の活動報告、今年度の活動計画の提示。
- 2月27日(水) 2013年度通常総会開催：エセテ大田第2学習室にて。
- 3月16日(日) 環境フォーラム2013「おおた魅せじまん」に出展。大田区民ホールフロア1地下展示室にて。
- 3月23日(土) 24日(日) コアジサシ営巣地整備作業：ボラソテイア参加のハ86名。
- 4月14日(日) スタッフによる整備作業。
- 4月29日(月) 屋上営巣地にデコイ841体を設置。「みんなで作ろうコアジサシのデコイ」開催。参加34名。コチドリ(の営巣確認(3卵。今期、森ヶ崎初営巣))。
- 4月29日(月) 大森海苔のふるさと館に森ヶ崎屋上ジオラマ展示。
- 5月4日(土) 5日(日) 葛西臨海公園春のバードウォッチングフェスタイバル出展：「東京湾のコアジサシ」講演。
- 5月12日(日) 屋上営巣地調査講習会開催：11名参加。コアジサシ初認、午前中は数羽が偵察飛行、夕方近く30羽ほどに増え、そのうちの10羽近くがデコイ付近に降りる。
- 5月19日(日) 屋上営巣地調査開始。コアジサシ初営巣確認(1巢1卵を確認)
- 5月24日(金) 大森第一中学校屋上営巣地観察会開催。
- 6月16日(日) コアジサシ初ヒナ確認：9羽を確認
- 6月23日(日) 近隣営巣地観察会〜中央防波堤外側処分場など。
- 6月29日(土) 第1回森ヶ崎屋上営巣地観察会開催：参加46名
- 6月29日(土) 7月6日(土) 渡りルート解明の為、親鳥にジオロケータ取り付け作業。コアジサシのヒナにバンデイヤック作業。
- 7月7日(日) 第2回森ヶ崎屋上営巣地観察会：参加27名。
- 7月18日(木) 森ヶ崎水再生センター主催「ホタルのタバ」に出展。
- 7月20日(土) NHK・Eテレ：モリゾー・キッコロ森へ行こうよ！「都会育ちのふわふわコアジサシ」放映。リトルターンのプロジェクトの活動が紹介された。(案内人：奴賀) 7月25日(木) 再放送
- 10月5日(土) 6日(日) 葛西臨海公園にて秋のバードウォッチングフェスタイバル出展。
- 9月8日(日) コアジサシ、総認。
- 9月8日(日) 29日(日) デコイ回収作業。196体が破損、44体修理不能。破損したものは環境ステーション様により補修。
- 10月5日(土) 6日(日) 葛西臨海公園秋のバードウォッチングフェスタイバル出展。東京湾のコアジサシと題してスライドショー開催。
- 10月9日(水) ~12日(土) 北米環境教育学会にて市民科学に関するシンポジウムに参加。LTPの活動紹介。
- 11月2日(土) 3日(日) ジャパンバードフェスタイバル(安孫子)に出展。
- 11月26日(火) 森ヶ崎水再生センターを訪れ、今シーズの営巣状況を報告。
- 12月7日(土) 池上会館にて「リトルターンのプロジェクト」2013年度営巣成果報告会開催。
- その他：日本野鳥の会東京：会誌6月号「野鳥Tokyo」にてLTPの活動を紹介。(執筆：増田)
BIRDER 8月号で「コアジサシの生活」を掲載。(執筆：北村) まどめ【松村 雅行】

■表紙の絵 「コミミズク」 堀越 保二画

2003年は1,500羽ものコアジサシが飛来し、賑わった年だ。オフシーズンの2月、地温を計っていた温度計を回収しに営巣地へ出かけた。アメリカセツダングサの枯野をトゲのような種をスボソにいつぱいぐつぐつながらゆくと、突然、フワッと舞い上がるものがある。ゆつくり羽ばたきながらコアジサシの角にとまった。双眼鏡で見ると、巣の中間のコミミズクだった。お面をつけたような顔をこちらに向けている。

どこからともなく数羽のガラスが集まってきて、ちよっかいを出し始めた。かわしなから舞い上がったコミミズクは、あつと言つ間に青空の点になった。この絵は大井理立地が原野のようだった1976年に描かれた。背後に描かれている植物は絶滅危惧種、ウラギクで、その群落は遠い思い出のなかに淡い紫色の花を咲かせている。

モノラルだけが走っていたこの頃はたくさんのコミミズクが生息していた。むろんコアジサシの営巣地も点在していたのである。



会員になって一緒にコアジサシを守りましょう!

NPO法人リトルターンのプロジェクトでは、随時会員を募集しています。わたしたちと一緒に絶滅の恐れのある野鳥「コアジサシ」を守りませんか?

◇入会届のダウンロード先
<http://www.littletern.net/hyuka.html>
 または、右記の問い合わせ先へご連絡ください。
 ◇入会届の送付先
 〒143-0015 東京都大田区大森西 5-10-22 増田方
 NPO 法人リトルターンのプロジェクト宛

◇発行：NPO法人リトルターンのプロジェクト
 ◇編集 増田 直也
 ◇協力 牧野 ふみよ
 ◇写真 大塚 豊、奴賀 俊光ほか
 ◇挿画 堀越 保二
 ◎無断転載・複写複製を禁じます。
 ☆お問い合わせ先
 〒143-0015 東京都大田区大森西 5-10-22 増田方
 NPO 法人リトルターンのプロジェクト
 E-mail: info@littletern.net Tel:090-1778-5917
 Website-URL <http://www.littletern.net/>



コアジサシ

NPO 法人リトルターンのプロジェクト通信

- Contents**
- コアジサシの渡りのルートを解き明かす...1
 - 特集 自然営巣地のコアジサシ.....2
 - リトルターンのプロジェクトと環境学習...3
 - 2013年度活動記録.....4

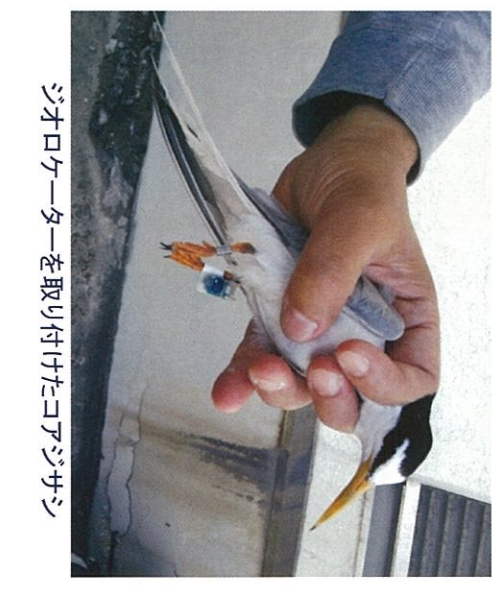
コアジサシの渡りのルートを解き明かす!

コアジサシは日本とオーストラリアやニュージーランドなどの国の間を行き来する渡り鳥だといことが知られています。この事実は主に足環をつけた調査から明らかとなってきており、例えば、森ヶ崎で産まれた個体がニュージーランドで発見されたりもしています。

しかし、こういった情報だけでは絶滅の危機に瀕しているコアジサシを守るためには十分ではありません。例えば、コアジサシが渡りの間に経由する中継地がどこにあるかを知らないことには、そこで行われる開発行為によってコアジサシの数が減る危険性を排除できないうちもありません。



見つけた方はご一報ください!



ジオロケータを取り付けたコアジサシ

1

詳細はLTPのHPを参照していただければと思いますが、次の繁殖シーズに再びコアジサシがやってきたところを捕まえ、機械を回収する必要があります。もしも機械を発見しましたら、LTPまでお知らせいただけるようお願いいたします。コアジサシを守るためだけでなく、コアジサシの興味深い生態を知ることができる機会となっておりますので、是非みなさんのご協力をお願いいたします。【北村 匡】